

鮫浦湾ホヤ幼生調査報告（第 1 1 報）

実施主体 宮城県漁業協同組合谷川支所養殖組合
 協力機関 東北大学マリンサイエンス復興支援室
 宮城県東部地方振興事務所水産漁港部
 宮城県水産技術総合センター

◆ホヤ幼生の出現状況調査内容

日 時：1月27日 10:30~12:00（検鏡11:20~12:00）

天 候：くもり

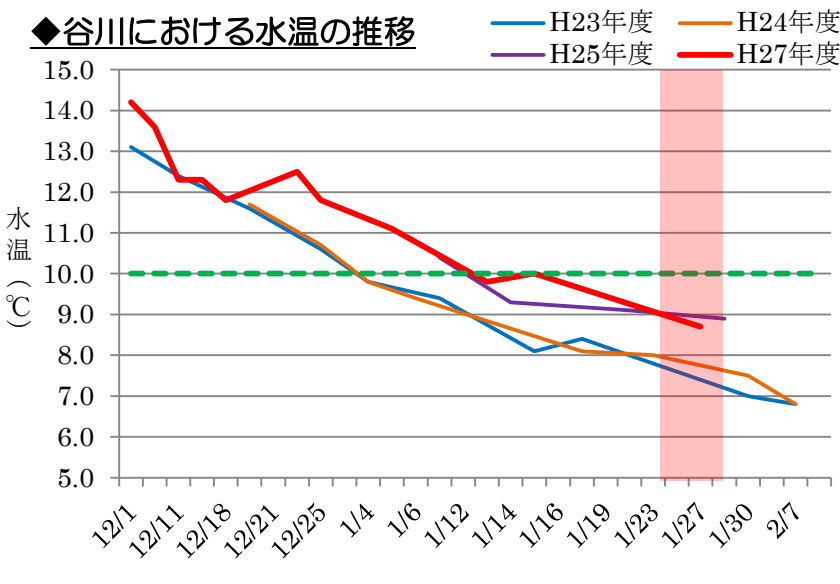
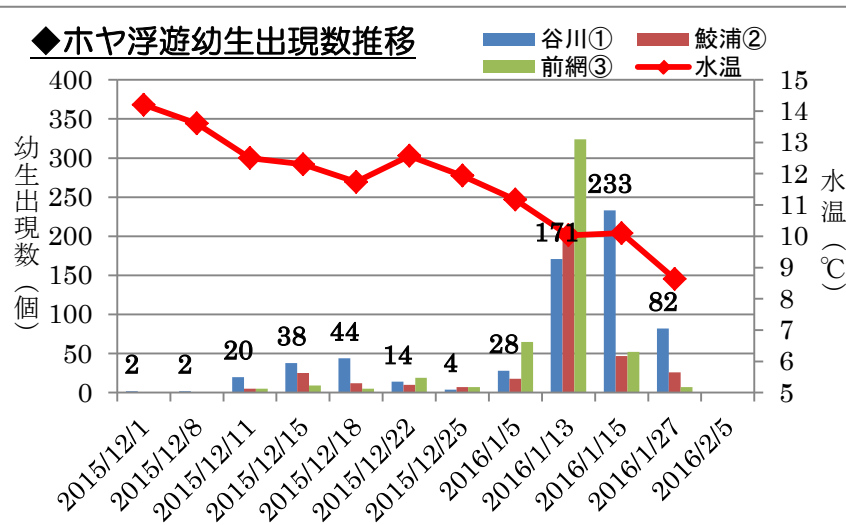
調査員：谷川支所養殖組合（阿部弘幸，米倉和久，渥美貴幸）

【概況】

1. 鮫浦湾の表面水温は8.4~8.8℃でした。
2. マボヤ幼生の出現数は、幼生・胚合わせて7~82個でした。
3. 各調査点とも、マボヤの産卵ピークが終了したと見られます。
4. 2月5日が最終の調査予定となっております。

調査点	表面水温 (°C)	ネット曳網距離 (m)	胚(孵化前)・浮遊幼生数(個)			(備考欄)
			胚(孵化前)	浮遊幼生	合計	
1 谷川	8.7	20	7	75	82	その他ホヤ幼生8
2 鮫浦	8.4	15	7	19	26	その他ホヤ幼生15
3 前網	8.8	15	0	7	7	その他ホヤ幼生6

※プランクトンネットは鉛直曳き2回



① 調査風景（ネット曳網）



② 調査風景（サンプル採取中）



③ 検鏡風景

